

教 師 ノ ー ト

日付	2011年 9月25日
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	無から生み出す主
タイトル	カナの婚礼
テキスト	ヨハネ 2:1-11
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ11:40 or ヨハネ2:11
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

メモ(情報・例話など)

2 リットルのペットボトル(水)を1本、またはバケツを用意して、ペットボトルなら240本～360本分、バケツなら何杯分の水を手伝いの人たちがぐんだかを視覚的に示すと良いですね。

□導入

結婚式に行った事がありますか？

結婚式は、新郎新婦が神さまの前で家族夫婦になる大切な式です。家族や友達がたくさん集まって結婚する二人をお祝いします(もし教師が既婚者なら、自分の結婚式の事等を話すといいと思います)。結婚式は、新郎新婦が最高の日を迎えられるように、裏ではたくさんの人たちが働いています。美味しい料理を作る人たち、お客さんのお世話をする人たち、花嫁さんの衣装やメイクをする人たちなどなど、裏で働く人たちのおかげで楽しい結婚式をする事が出来るのです。

イエス様の時代にも結婚式がありました。ところが、とっても幸せなパーティーの最中に問題が発生したのです。

□ポイント1 ぶどう酒がなくなりました。(：3)

せっかくのお祝いの席なのに、ぶどう酒がなくなりました。お客様がまだいるのに足りなくなったら、新郎新婦にもお客様にも嫌な思いをさせてしまいますから、何とかしなければなりません。(問:みんなだったらどうしますか? どうやってたくさんのぶどう酒を用意したら良いと思いますか?)でも今のようコンビニもないし電話やパソコンもないので、すぐに用意するのは難しいことでした。裏で働いている人たちは、どうしたらよいかかわからず困っていたのです。

注)現代の子どもたちは、簡単に何でも手に入る環境にいるので、何も手段がない事を理解できるように話して下さい。「いやぁ困った、困った」と困惑している様子が伝わるようにお話ししましょう。

□ポイント2 マリヤはイエス様に告げました(：3)

ちょうどマリヤもイエス様もこの結婚式に来て招かれていました。そして、マリヤはみんなが困っている事を知ったのです。普通なら、家の人に足りないことを伝えるのですが、マリヤはそうしませんでした。すぐにイエス様を捜して「ぶどう酒がなくなりました」と伝えたのです。イエス様はお客様ですから、普通なら伝える人が違っていても、マリヤはイエス様ならなんとかしてくれると知っていたのでした。そして、次にお手伝いの人たちに「イエス様の言う事は何でも聞いて下さい」と伝えたのです。きっと、お手伝いの方は、どこからかぶどう酒が届けられるのかもしれないと思ったでしょうね。

□ポイント3 イエス様は最初の奇蹟を行いました。

でも、イエス様のおっしゃった事は「おかしいなあ」と思うことでした。「水がめに水を満たしなさい」と言われたのです。水がめは 80～120 リットル入るとありますから、大きな 2 リットルのペットボトル 40 本から 60 本くらい入るかめです。それが 6 コもあるのです。ペットボトルなら 240 本から 360 本分です！「今からスーパーに行って、2リットルのペットボトルの水を 300 本買ってきて～」と言われたら、大仕事です。車が何台も必要です。当時は水を汲むのだから、今のように蛇口を開いていれるのではありません。井戸に行って何度も何度も運ばなければなりません。(バケツのような物を用意して水を入れて運ばせてみるのもいいでしょう。どのくらいの水が入っているか確認し、これを何回くらいすれば全部のかめが一杯になるか考えさせるのもいいでしょう。)

でも、お手伝いの人たちは*言われた通りにかめの口まで一杯に満たしたのです。(文句や愚痴を言わずに、言われた通りのことを行ったお手伝いの人たちの姿勢を強調して下さい。)

イエス様が次に言ったのは、「水を汲んで世話役の人のところに持って行きなさい」という事でした。かめに入っていたのは何ですか？ そう、水です。こんなもの持って行ったら怒られるに決まっています。でも、イエス様の言われた通りに持って行きました。世話役は、びっくりしました。最高のぶどう酒だったからです。いつ変わったのでしょうかねえ？

弟子たちは、イエス様が水をぶどう酒に変えて下さったことを見て、イエス様を信じました。イエス様の栄光、「イエス様って素晴らしい」ということを体験したからです。

例話) 困ったことがあって、イエス様に助けてもらい、「イエス様って素晴らしい」と体験した証しを語りましょう。

・小学生の時、一緒に教会学校へ行っている友だちとケンカをしてしまい、きまづくなってしまいました。「相手があやまるまで仲直りをしない」と思っていたのですが、心がとっても重かったのです。そのことを正直にイエス様にお祈りしました。すると「勇気を出しなさい」(ヨハネ 15:33 口語訳)ってイエス様が言われたのを思い出しました。そして「イエス様、勇気を下さい」ってお祈りして、自分から仲直りをしようと言うことができました。それからその友達は、一番仲の良い友達になりました。イエス様が助けてくださり、イエス様って素晴らしいなあと思いました。

□結論 イエス様は、水をぶどう酒に変える力を持っておられるのです。 暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

困ったことって、突然起こってきます。どうしたら良いの分からない時、みなさんは、まだ子どもなのでお父さんやお母さんに何でも相談する事が多いでしょう。それは、大切な事です。でも、お父さんやお母さんにもわかってもらえない時があります。教会に来たいのに反対されたり、洗礼を受けたいのにダメだと言われたり、学校や友達の間でけんかや困った事があったとき、友達や家族が病気の時、一番に相談するのはイエス様です。「イエス様、どうしたらいいのでしょうか?助けて下さい。」と祈りましょう。そして、イエス様に従う生活をしましょう。聖書を読みお祈りをして、イエス様の答えがちゃんと聞こえるようにしましょう。私たちのイエス様は、水をぶどう酒に変える事が出来る方ですから、私たちのお祈りにも最高の答えを下さいます。イエス様の栄光、「イエス様ってなんて素晴らしいんだろう！」ということを経験することができます。